

日時 令和8年8月31日 19:00～19:45

出席 スポーツ施設課 3名

来場者数:5名

No.	事項	内容	回答・対応
1	耐震性について	耐震を満たしていないのが、わかった段階で、公表されたのはいつか？	どの時点で公表したかは分かりかねるが、耐震診断を踏まえて「機能移転する」と公共施設適正化計画では公表している。施設カルテにて、旧耐震基準である旨は記載済みである。
2	耐震性について	利用者は知らないのでは？周知の方法を考えないと、心配するのでは？耐震性を鑑みて利用を控える人もいるため、公表をした方がいい。	周知の方法については、施設内に張り紙等でこれまでの経緯と、休止する理由について説明する。
3	耐震性について	地震があった際、強度的に不足しているところはどこか？	どこが弱いかを詳細にお伝えすることはできない。
4	地震発生時の対応について	避難経路について、玉湯体育館の形状が特殊であるため、事前に避難経路図などを分かりやすく施設内で図示してほしい。例えば玉湯学園まで行くなどといった分かりやすいものだとありがたい。	承知した。定期利用団体のみならず、一般利用者にも伝わりやすいよう周知していきたい。
5	公共施設適正化計画について	機能移転とは？	玉湯体育館の体育館としての機能を旧玉湯小や、旧大谷小、その他の体育館に移転すること。
6	代替施設の利用について	すでに利用されているのでは？地域クラブを開設するにおいて、施設が足りない。これまでは、玉湯体育館を学校体育館が取れない際に利用していた。地域クラブなのに、一般利用にされてしまう。地域クラブは松江市が進めている事業であるので、学校施設の体育館の優先予約制度（学校開放の時間を早めるか、一般利用の枠ではなく、特別枠として）の働きかけを教育委員会してほしい。	承知した。学校管理課へ本件について情報共有を行う。
7	地域移行制度について	地域移行制度に問題があるため、社会体育館の利用と、学校施設との利用調整がうまくいかなくなっている。（部活と地域クラブで重複してしまい、利用競争が生まれてしまう。）県や市は地域移行を推奨している割に、その地域クラブが利用できる施設が少ない。機能移転をするのであれば、利用調整を教育委員会から学校へ対してほしい。	承知した。教育委員会へ情報提供を行う。
8	耐震改修について	耐震工事を行うといくらか？新設するといくらか？	耐震工事は5億円、新設すると20億円（いずれも数字はあくまで推定）
9	耐震改修について	学校施設と社会体育施設は使用目的が違うため、建て替えや耐震化を要望したい。その場合の要望先としては、どこにしたらいいか？	要望については、スポーツ施設課へしていただきたい。
10	代替施設の利用について	フットサルができる体育施設は少ない。他の施設でフットサルができるようにしてほしい。防護マットなどで対策などして、利用できるよう対策をしてほしい。	検討する。